

## 除草作業で社会奉仕

9月15日から21日までを老人週間としていますが、20日を社会奉仕の日と定めています

9月は敬老の日もありますが、老人会の全国社会奉仕の日として20日前後に、各老人クラブが活発な活動をしています。

八方原老人クラブは、毎年市道の清

掃作業をおこなっています。今年も例年同様の作業が実施され、道路わきの雑草が一本残らずきれいに処理されました。

事前に道路わきには除草剤を散布し、作業をしやすくしてあります。当日は24名の会員が参加、朝8時半からほぼ2時間の作業となりました。会員の方には、本当にご苦労様でした。老人会の作業は本当に丁寧で、草の根までしっかり除去されています。

この作業については「農地隣接道の清掃」ということで多面的機能支払交付金の対象事業となっています。従来の共同活動支払交付金と同様です。

### ハイパワーマシンが来た

農事組合法人八方原では、新たに大型コンバインを導入しました。本体の大きさは従来のもので大きな差はありそうにありませんが、エンジンが強力になっているようです。

9月23日、作業中の新型コンバインを見せてもらいました。刈り取り速度のスピードは、自転車並みの速さです。関係者に聞くと、「燃料も従来モデルより相当多く必要」とのことでした。あれだけの速度で作業するので、止むを得ないでしょうね。



ガードレール下の草もかき出して運びます。これぞシルバーパワー



「運転は簡単だよ」とは言うけれどね

### ありがとう「朝顔」

今年の夏一生涯懸命咲いてくれた「朝顔」のシーズンが終わりました。一番たくさん花が咲いていたときには、50個以上が花開いていました。花が終わり、実がついていきます。たくさんの種子が取れます。



# みんなで笑おう「やかたばら」



子ども会のメンバーも「銭太鼓」を体験

ということ、みんなで後押しすることになりました。

当日は子ども会のメンバーもほぼ全員参加、高齢のかたがたも日ごろの練習の成果を披露もかねて、おお張り切り。

岩屋の芸達者末広さんも駆けつけて、自慢の作品を披露してくださいました。

みんなが少しずつお金を出して、お菓子を買い、おむすびを作っていたいただきました。

結局30名以上の人が集まって初めてのイベントは大成功でした。

日ごろのお付き合いとは違うふれあいに皆さん大いに絆が深まったのではないのでしょうか。

さまざまな行事が年間を通して結構ありますが、何年も同じようなことをしていると、そのイベントが何のためになされたのか忘れられてしまいます。「とにかく、やればいい」ということになりがちなのですが、今回のように、地域に笑顔を取り戻すイベントとして立ち上がりましたから、その趣旨を忘れないように、これからも続いていくとよいですね。

ているようです。

朝がだんだんと涼しくなってくると焚き火が恋しくなりますね。焚き火を囲んで、あれこれ話ができるのも、もうすぐのようです。



コーヒーを飲みながらの談笑も楽しみ

刈り払い機を用いる場合は、石や泥を撥ね上げることがありますので、軽装では危険です。特に顔の周りには小石が飛んでくることが多いので、防塵めがねやマスクは欠かせません。また刈り払い機の先端ばかり見ているために、足を踏み外したり、体の向きを変えようとしてバランスを崩したりすることもあります。安全第一、慎重に慎重に。



一見大袈裟な装備に見えるけど、必要

## 草刈り作業は楽じゃない

農家にとって「草刈り」こそ一番の厳しい作業ではないでしょうか。田のあぜ道や、水路ののり面は、それぞれ受け持ちがあるようです。毎年5月、7月、9月と定期的な作業を繰り返します。

夏休み最後の日曜日、子どもたちの歓声が八方原公民館にあふれました。福祉委員の神武正枝さんは、ふれあいサロンを運営しながら、もう少し輪を広げられないものだろうかと考えておられました。ふれあい盆踊りの運営協議の際に、その考えを述べられましたところ、全員が「一度やってみたら」

## 野菜だけじゃないぞ

毎週土曜日の八方原ふれあい朝市、朝早くからたくさんの人々が、新鮮な野菜を求めて集まります。買い物も目的ですが、もうひとつは、常連さんや地元の農家のお話も大きな魅力になっ